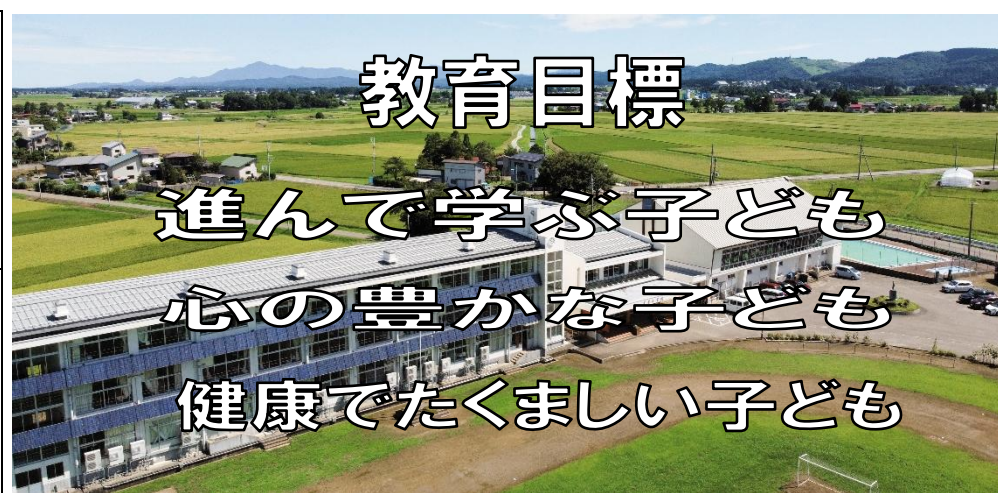


令和8年度 豊原小学校の教育プラン

<p>【保護者・地域の願い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎約束を守れる子（地域・家庭・学校でマナーやルールを守れる子） ○社会性を身に付ける <ul style="list-style-type: none"> ・誰とでもあいさつができる ・いろいろな人と関わりがもてる ・リーダーシップ、フォロワーシップがとれる ・善悪の判断ができる ○心を大切にできる <ul style="list-style-type: none"> ・我慢することができる ・思いやる気持ちで接する ・感謝の気持ちをもって行動する ・メディアコントロールができる
<p>【児童の実態及び教職員の願い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学び、学習内容が定着している子ども 知 ○自分の思いをもち、はっきり伝えられる子ども 知 ○誰とでもなかよくできる子ども 徳 ○自分の思いを適切に伝えられる子ども 徳 ○いろいろな運動に進んでチャレンジする子ども 体 ○自らの生活をよりよくすることができる子ども 体



<p><新潟県学校教育の重点></p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひとづくり ○児童が主役の授業づくりの推進と確かな学力の育成 <ul style="list-style-type: none"> 単元構想 対話のある学び ICT活用 ○いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成 道徳教育 特別活動 人権教育、同和教育
<p><上越市学校教育実践上の重点></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎教育目標「ふるさとを愛し、自立と共生ができる子どもを育てる」 ○「安全・安心な学校・学級づくり」を土台に重点に取り組む。 重点1 子どもが主体的に学ぶ授業づくり【確かな学力の育成】 重点2 すべての子どもを支える教育体制づくり 【多様な教育支援の実現】

重点目標	自ら考え 仲間とともに 豊かに関わり合う 子ども
------	--------------------------

主体的に学び表現する子ども		互いを認め合う子ども		運動に親しみ健康に生活する子ども	
学力の向上		豊かな心の育成		体力の向上・生活習慣の定着	
子の姿	目指す	・自分の考えを伝え合い、学び進める子ども	・相手の考えや気持ちを受け止め、誰とでも一緒に活動できる子ども ・自分を見つめ、自分の思いを適切な言葉で伝えられる子ども (適切な言葉とは…時、人、場に合った言葉)	・めあてをもって、進んで運動にチャレンジする子ども ・自分の健康を考えて、規則正しい生活をする子ども	
	重点教育活動と具	・学習の基礎・基本の定着を図る。 ・対話を通じた課題解決の場を設定する。 ・家庭学習の手引き、家庭学習カードを継続して活用し、家庭学習の定着を図る。	・学級を柱に、心の学習会や行事、児童会活動等の異学年活動を通して、よりよい生活や人間関係を築く。 ・道徳科や体験、月の生活目標と関連付けた教育活動を行い、社会性を育てる。 ・人権教育、同和教育の授業や教育活動を工夫し、人権感覚を高める。 ・毎月の生活アンケートや毎週の職員間の情報共有を通して、児童理解を深める。 ・参観や学校だよりなどを通して、保護者への啓発を図る。	・学習カードや ICT を活用して、自身の記録を蓄積し、伸びや成長を振り返ったり、自分の課題を見付けたりする。 ・令和7年度の体力テストの結果から、柔軟性に関して、授業の中で重点的に強化を図る。 ・メディアのよりよい利用の仕方や早寝早起きなどの生活習慣を啓発する。(年2回+自校1回) ・校内学校保健委員会(PTCにおける親子学習会)を継続して実施する。 ・家庭との連携を強化するとともに、学級指導、個別指導を推進する。	
評価	達成目標	・自分の考えをもち、進んで表現する 80%以上 ・授業が分かる 85%以上 ・自分で計画を立てて家庭学習をする 80%以上 ・単元テストの到達度(各学期、教科ごとの平均点) 85%以上	・相手の考えや気持ちを聞いて、受け止める 80%以上 ・誰とでも一緒に活動する 80%以上 ・自分の得意なことや苦手なことを知る。 80%以上 ・自分の思いを適切な言葉で伝える 80%以上	・進んで体を動かす。 85%以上 ・早寝早起きをする 70%以上 (早寝 低 21:00・中 21:30・高 22:00 早起き 6:30) ・メディアの約束を守る 70%以上 ・長座体前屈に関して、自身の記録が今年度の新潟県平均を上回る。 55%以上	
	評価方法	○学校評価アンケート(児童、保護者、職員) ○学校運営協議会の感想や意見 ○全国学力学習状況調査(6年)、単元テスト、Web 配信問題(年5回)、学習指導改善調査、NRT	○学校評価アンケート(児童、保護者、職員) ○学校運営協議会の感想や意見 ○みずほ班活動や心の学習会での振り返り ○月の生活目標の振り返り ○人権教育、同和教育の学習での振り返り	○学校評価アンケート(児童、保護者、職員) ○学校運営協議会の感想や意見 ○メディアコントロールチャレンジウィークの取組結果 ○体力テストの結果	
会営学協校議連	○協働して学校課題の解決に取り組むとともに、地域との協働体制づくりを進める。 ・年3回の協議会を開催し、学校課題の解決や地域との協働体制づくりについて熟議する。 ・地域に学び、地域に貢献できる総合的な学習の時間「とよはらふるさと学習」の活性化、支援(体制)整備の充実を図る。 ・子どもの安心、安全に係る取組を推進する。 ・学校応援ボランティアの活用を促進するとともに、活動の情報発信を進める。				
携域家小、と庭中協の・学働連地校	○小中学校連携…小中一貫教育を目指し、学力向上や望ましい学習習慣、生活習慣の確立、人権、同和教育、人間関係形成力の育成など、板倉区内の小中学校が一体となって組織的に取組を進める。 ○地域…地域や中学校と連携して、あいさつ運動を促進する。板倉青少年育成会、後援会、民生委員児童委員と連携する。 ○家庭…あいさつ、手伝い、外遊びができる子を育てる。家庭学習習慣や規則正しい生活習慣づくりに向けた取組を推進する。親子・家族でメディアの利用の仕方を学び、時間の使い方を考え工夫する。(PTCにおける親子学習会の実施。2・3・6年生)				